キリスト者の使命(2)主の「賞」を得るための戦い 主は生きておられる 30 号 ゴットホルド・ベック	The Mission of Christians 2 – Struggle to Win the "Prize" of the Lord Unser Herr lebt, Issue 30 Gotthold Beck
[Page 4]	[Page 4]
主イエス様を体験的に知ることこそ、人生において最も 大切なことです。救いの神を知ってはじめて、私たちは 真実に満たされた生活を送ることができるようになります 人生は、生きておられる神との出会いがあり、罪の赦し を確信して神様との間に平和が保たれ、永遠のいのちを いただいてこそ幸いです。日々、主イエス様に愛され、導 かれ、そして守られているという確信が生活の土台にな くてはなりません。また、死んだ後も主イエス様と永遠に 交わりをもち、栄光をともにできるという確信は、最高の 宝物です。いつまでも主とともにいる、という事実につい て考えると主を礼拝せずにはいられません。神の恵みに よって信仰をもち、「神の子ども」とされてからも、主イエ ス様を体験的に知り続けていくことはとても大切です。 それは私たちがこの地上において、主のために用いられ る器となるためです。そこで、前回に引き続き、キリスト 者の使命、つまり、私たちが救われたのは何のためかも うー度聖書から考えてみたいと思います。パウロも「エペ ソ人への手紙」の中で言っています。 エペソ4:13 私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識 の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの 満ち満ちた身たけにまで達するためです。	The most important thing in life is to know the Lord Jesus experientially. It is not until we know the God of salvation that we can live a life filled with truth. The true blessing of life is given when, through an encounter with the living God, you become convinced of the forgiveness of sins, you have peace with God and you receive eternal life. We must have this certainty at the foundation of our life—the certainty that we are loved, led and protected by the Lord Jesus at every moment of every day. Furthermore, the conviction that we will enter into eternal fellowship with Jesus after death and share in His glory is an incomparable treasure. We are compelled to worship the Lord when we think of being together with Him forever. Even after we are
パウロがみことばを宣べ伝えた目的は、幼いままの「乳 飲み子」の兄弟姉妹の世話をすることではなく、人々が 「まったき人」となるよう御霊によって励まされることでし た。神の恵みにより信仰をもって救われた兄弟姉妹が、 「永遠の勝利の冠」を得るために生きていくようパウロは	until all of us are united in the faith and in the full knowledge of God's Son, and until we attain mature adulthood and the full standard of development in the Messiah. [International Standard Version]
常に祈っていたと言えます。	When Paul proclaimed the message, his purpose was not to look after the brothers and sisters in Christ as if they were "suckling babies." It was rather for them to be encouraged by the Holy Spirit to become "blameless." Paul never stopped praying for those brothers and sisters who were given faith and saved by the grace of the God so that they would strive to attain the "eternal crown of victory."
[5]	[5]
1.競争·拳闘·格闘技	1. Racing, Boxing and Wrestling
新約聖書の中では、この地上における競技と、私たち信 者の霊的・信仰的な戦いとが対比されています。それは 私たちの信仰を励ますためであります。そこで三つのギ リシャ・ローマ時代の競技である競走、拳闘、格闘技に ついてどのように描かれているか見てみましょう。中でも 競走に関して多く述べられているのは意味のあることで	In the New Testament, athletic games are used as an analogy of the spiritual/faith battle of believers. This is to encourage us to increase our faith. So, let's look at how three athletic games in Greek and Roman times—footrace, boxing and wrestling—are portrayed in the Bible. In particular, it should come to our attention that there are many references to

す。走者がゴールを目指して走るのと同様に、私たちキ	footraces. Just like athletes run toward their goal, we
り。足有がコールを自指して足るのと同様に、私たちギリスト者もまた前にある主の目標、キリスト・イエスにおいて召してくださる神の「賞」を得ようと努めています。	Christians keep pursuing the goal of the Lord lying ahead, to win the "prize" of God's heavenly call in the Messiah Jesus.
ピリピ 3:14 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠 を得るために、目標を目ざして」心に走っているので す。	Philippians 3:14 I keep pursuing the goal to win the prize of God's heavenly call in the Messiah Jesus.
拳闘は、私たちの戦いが、自分自身の中にいる敵に対 するものであることを示しています。みことばは次のよう	Boxing implies that our battle is against the enemy who dwells within us. The words of God from the Bible tell us:
に言っています。 1コリント9:24-27 競技場で走る人たちは、みな走っても、賞を受けるの はただひとりだ、ということを知っているでしょう。です から、あなたがたも、賞を受けられるように走りなさい また闘技をする者は、あらゆることについて自制しま す。彼らは朽ちる冠を受けるためにそうするのですが 私たちは朽ちない冠を受けるためにそうするのです。 ですから、私は決勝点がどこかわからないような走り 方はしていません。空を打つような拳闘もしてはいま せん。私は自分のからだを打ちたたいて従わせます。 それは、私がほかの人に宣べ伝えておきながら、自 分自身が失格者に恋るようなことのないためです。 格闘では、私たちの外にある「闇の力」が戦いの標的で あることを教えています。次のみことばはよく知られてい ます。 エペソ6:12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力	 wreath that withers away, but we run to win a prize that never fades. That is the way I run, with a clear goal in mind. That is the way I fight, not like someone shadow boxing. No, I keep on disciplining my body, making it serve me so that after I have preached to others, I myself will not somehow be disqualified In reference to wrestling, it is taught that the "power of darkness" surrounding us is the enemy in our battle. This verse is well-known: Ephesians 6:12 For our struggle is not against human opponents, but against rulers, authorities, cosmic powers in the darkness around us, and evil spiritual forces
この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。	
[6]	[6]
このように三種類のスポーツは、私たちキリスト者の戦 いの三つの異なった精神的な方向を示唆しているので す。	In this manner, these three athletic games allegorically imply three different directions of Christians' spiritual battles.
競走についてさらに考えてみます。競走が意味している 最も大切な真理は、「すべての走者はゴールに到達する ことができる」というものです。したがって主の力をもって、 御旨に従い私たちもまた目標に達することができるので す。	I would like to expand the discussion on footraces. The most important truth signified by footraces is that "all runners can reach their goal." Thus, we too can reach our targets when we do His will by means of the strength of the Lord.
すべてのキリスト者は力の限りを尽くし、目標を目指して、 急いで走らなければなりません。枝葉のことに目を奪わ れて目標から離れてはなりません。的外れな生き方をし てはなりません。	All Christians have to be entirely devoted to running toward their goal, to the full extent of their power. We should not be captivated by meaningless things and avert our eyes from the goal. We are not supposed to live aimless lives.
すべてのキリスト者はゴールインするまで走り続けなけ ればなりません。途中で疲れたと言ってやめてしまうこと は許されません。休みなく前進すべきであって、立ち止	All Christians have to continue running until they reach their goal. We cannot complain for being tired and stop running. We ought to keep moving forward day and night, and we are not allowed to stop for

まることは許されません。敵は私たちを倒そうとします。	
しかし、主イエス様は私たちを守ることがおできになります。ですから、つまずかないように、また倒されないよう に走らなければなりません。	rest. No matter how hard the enemy tries to defeat us, the Lord Jesus protects us. So, we have to keep running without falling away or falling over.
すべてのキリスト者は常に最高のものを得ようと望むべ きです。そうした時にはじめて、主イエス・キリストの栄光 の冠を得る恵みに与れるのです。キリスト者が得る報い について聖書は次のように語っています。	All Christians should always aim at acquiring the best thing. Only when we do this are we given the privilege of receiving the victor's crown of glory from the Lord Jesus Christ. The rewards given to Christians are explained in the Bible:
について主旨は次のように出っていよう。	2 Peter 1:11
2ペテロ 1:11 このようにあなたがたは、私たちの主であり救い主で あるイエス・キリストの永遠の御国にはいる恵みを豊	For in this way you will be generously granted entry into the eternal kingdom of our Lord and Savior Jesus, the Messiah.
かに加えられるのです。	2 Corinthians 5:10
2コリント5:10 なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現 われて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあって した行為に応じて報いを受けることになるからです。	For all of us must appear before the judgment seat of the Messiah, so that each of us may receive what he deserves for what he has done in his body, whether good or worthless.
2テモテ 4:8 今からは、義の栄冠が私のために用意されているだ けです。かの日には、正しい審判者である主が、それ	2 Timothy 4:8 The victor's crown of righteousness is now waiting for me, which the Lord, the righteous Judge, will give to me on the day that he comes,
を私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現 われを慕っている者には、だれにでも授けてくださる のです。	and not only to me but also to all who eagerly wait for his appearing. To help brothers and sisters understand the
	necessity of growth and purification, as well as the
パウロは救われた兄弟姉妹の成長と聖めの必要性、信仰の戦いの重要性を教えるために、キリスト者の戦いを 競走になぞらえて説明しました。そして彼自身も走り続け ました。	importance of the battle for faith, Paul explained the struggles of Christians by making an analogy to athletic races. He too kept running throughout his life:
仰の戦いの重要性を教えるために、キリスト者の戦いを 競走になぞらえて説明しました。そして彼自身も走り続け	struggles of Christians by making an analogy to athletic races. He too kept running throughout his
仰の戦いの重要性を教えるために、キリスト者の戦いを 競走になぞらえて説明しました。そして彼自身も走り続け ました。	struggles of Christians by making an analogy to athletic races. He too kept running throughout his life:
 仰の戦いの重要性を教えるために、キリスト者の戦いを 競走になぞらえて説明しました。そして彼自身も走り続け ました。 [7] 2テモテ 4:7 私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を 守り通しました。 使徒 20:24 けれども、私が自分の走るべき行程を走り尽くし、主 イエスから受けた、神の恵みの福音をあかしする任 務を果たし終えることができるなら、私のいのちは少 	struggles of Christians by making an analogy to athletic races. He too kept running throughout his life: [7] 2 Timothy 4:7 I have fought the good fight. I have completed the
 仰の戦いの重要性を教えるために、キリスト者の戦いを 競走になぞらえて説明しました。そして彼自身も走り続け ました。 [7] 2テモテ 4:7 私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を 守り通しました。 使徒 20:24 けれども、私が自分の走るべき行程を走り尽くし、主 イエスから受けた、神の恵みの福音をあかしする任 	 struggles of Christians by making an analogy to athletic races. He too kept running throughout his life: [7] 2 Timothy 4:7 I have fought the good fight. I have completed the race. I have kept the faith. Acts 20:24 But I don't place any value on my life, if only I can finish my race and the ministry that I received from the Lord Jesus of testifying to the gospel of

これらのみことばは、目標を意識することと、上のものを 求めることの大切さを示しています。一人の人の生涯に おいて、その人がどんなことを考え、どんな目的をもって いるかということこそ決定的なものとなります。内面的な 態度および姿勢からその人全体の外面的な行いも決定 されます。 2.上にあるものを思う 主イエス様は、私たちの人格そのものを新しいものに造 り変えたいと願っておられます。主イエス様は、考え方、 見方、価値観を変えてくださいます。しかし、このような 本当の意味の人間革命、すなわち人が造り変えられる ためには、その人の内面的な決断、心の向かうところ、 考えや求める気持ち、これらが「上にあるもの」、すなわ ち永遠なる主イエス様ご自身に向けられていることが大 切です。聖書は言っています。 コロサイ3:1~2 こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによ みがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。 そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。 あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを	
思いなさい。 [8]	[8]
上にあるものを思う兄弟姉妹は、主なる神が自ら啓示さ れる泉、すなわち主イエス様を愛しています。	Brothers and sisters who set their minds on things above love the fountain that the Lord God reveals to them—that is to say, the Lord Jesus.
上にあるものを思う兄弟姉妹は、自分のいのちの泉であ られる主ご自身と個人的に祈りの交わりをもっています。	Brothers and sisters who set their minds on things above communicate personally through prayer with
上にあるものを思う兄弟姉妹は、目まぐるしい生活の中	the Lord, who is their fountain of life.
にあっても、常に静かな祈りと平安の中にいることができ る人々です。	Brothers and sisters who set their minds on things above always live a calm and peaceful life of prayer, even in the bustle of everyday life.
上にあるものを思う兄弟姉妹は、ときどき祈るのではなく 絶えず祈り、絶えず感謝しているのです。 上にあるものを思う兄弟姉妹は、上にあるものを見上げ	
ることによって、主が私たちを導いてくださるようにと願っ ているのです。	Brothers and sisters who set their minds on things above always look up to things above and wish for the Lord to lead them.
上にあるものを思う兄弟姉妹は、この世においても誠実 で良心的な行いの模範者であり、主イエス様の栄光が 明らかにされることを心から待ち望んでいる人々です。 上にあるものを思う兄弟姉妹は、地上においても責任を 果たしていますが、その本当の目的は天にあります。	Brothers and sisters who set their minds on things above inspire others to perform honest and conscionable deeds in this world, and they aspire for the glory of the Lord Jesus to be manifested in their hearts.
上にあるものを思う兄弟姉妹は、主イエス様を愛し、主 のみことばである聖書を愛する者に他なりません。主と 主のみことばを愛する人の生活には、虚しく意味のない	Although brothers and sisters who set their minds on things above carry out their responsibilities in this world, their true purpose lies in heaven.
日は一日もありません。そういう兄弟姉妹は、聖書を通 して主イエス様が毎日自分に語りかけてくださることを求	Brothers and sisters who set their minds on things

めています。聖書全体は信仰といのちの動かない土台 です。主のみことばの全体が、上にあるものを思う兄弟 姉妹にとっては「約束」と「戒め」であり、主イエス様の 「賜物」と「使命」であり、生き生きとした力と喜びを与える ものであり、人生の正しい方向を指し示すものです。上 にあるものを思う心と、聖書を読む喜びとは相伴うもの です。 すべてのみことばは天からの賜物です。ですから、聖書 を読むことをおろそかにしたり、みことばを聞くための主 にある交わりをもつことを怠る人は、地上のことだけを思 い、霊的に貧しくなり、この世の力に支配され、上よりの 召しを拒むようになってしまいます。	above all love the Lord Jesus and the Bible, which is the word of God. In the life of those who love the Lord and his word, no day is wasted or meaningless. These brothers and sisters call upon the Lord Jesus to talk to them through the Bible everyday. The whole Bible is the immovable foundation of our faith and life. For brothers and sisters who set their minds on things above, all words from the Lord are "promises" and "instructions." They are also the "gift" and the "mission" given by the Lord Jesus, which gives us strength and joy to live and steer our life in the right direction. Minds that are set on things above and the joy of reading the Bible work well together. All words in the Bible are a gift from above. So, those who don't place enough importance on reading the Bible or neglect to seek the Lord for fellowship and His words will end up being preoccupied by worldly concerns. They become spiritually poor, and their minds will be controlled by earthly pursuits and eventually turn down the call from above.
[9]	[9]
上にあるものを思わない兄弟姉妹は、最後まで競走を 走り通すことができません。目標を目指して走る代わり に、右を見たり、左を見たりしながら、結局はいつも同じ ような状態にとどまらざるを得なくなります。	If brothers and sisters let their minds stray from the things above, they won't be able to finish the race and reach the goal. Instead of running straight towards the goal, they'll easily get distracted by meaningless things and keep going in circles forever.
けれども、上にあるものを思う兄弟姉妹は、夜も昼もみこ とばを思い、みことばを喜ぶ者としてどんなに祝福される ことでしょうか。	However, brothers and sisters who set their minds on things above will be richly rewarded for being sincere and delighting in His word day and night.
詩篇 1:1~2 幸いなことよ。悪者のはかりごとに歩まず、罪人の道 に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。 まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜も そのおしえを口ずさむ。	Psalms 1:1-2 How blessed is the person, who does not take the advice of the wicked, who does not stand on the path with sinners, and who does not sit in the seat of mockers. But he delights in the Lord's instruction, and meditates in his instruction day and night.
上にあるものを思う兄弟姉妹は、主の掟のうちにある、 奇しいことを見るようになります。 詩篇 119:18	All brothers and sisters who set their minds on things above walk in the statutes of the Lord and will be allowed to observe amazing things.
私の目を開いてください。私が、あなたのみおしえの うちにある奇しいことに目を留めるようにしてください。 また大きな獲物を得た人のように、主のみことばを喜ぶ	Psalms 119:18 Open my eyes so that I will observe amazing things from your instruction.
ようになります。 詩篇 119:160、162	They also find joy in the word of the Lord, just like those who have found a great spoil.
みことばのすべてはまことです。あなたの義のさばき はことごとく、とこしえに至ります。…私は、大きな獲 物を見つけた者のように、あなたのみことばを喜びま す。	Psalms 119:160, 162 The sum of your word is truth, and each righteous ordinance of yours is everlastingI find joy at what you have said like one who has discovered a great treasure.
主のみことばを通して、新しい力が、上にあるものを思う 兄弟姉妹の中に入って来るのです。上にあるものを思う 兄弟姉妹の目は上に向けられ、目標に向かって全力で	Through the word of the Lord, new strength flows into brothers and sister who set their minds on things

前に進みます。この競走の最後には勝利が待ち受けて います。主イエス様が再臨される時にその勝利は明らか になります。	above. The eyes of brothers and sister who set their minds on things above look up to heaven, and they commit to moving forward to their goal. Victory is waiting at the end of this race. When the Lord Jesus comes back, their victory will be proclaimed.
[10]	[10]
3.主によって完全に捕らえられる	3. Perfectly Embraced by the Lord
1 ペテロ 1:13 ですから、あなたがたは、心を引き締め、身を慎み、 イエス・キリストの現われのときあなたがたにもたらさ れる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。	1 Peter 1:13 Therefore, prepare your minds for action, keep a clear head, and set your hope completely on the grace to be given you when Jesus, the Messiah, is revealed.
心を引き締め、身を慎む兄弟姉妹は、絶えず目をさまし、 主イエス様を待ち望んでいます。「心を引き締める」とは、 完全に、徹頭徹尾、主の恵みを信頼することを意味しま す。「恵み」は、人間の行いとは全く異なる次元で、主イ エス様が私たちのためになしてくださることです。したが って本当の競走者とは、100パーセント主イエス様の恵 みを信頼して走る者です。自分自身の力に頼らず、ただ 主イエス様が明らかにされる目標だけを目指して走るの です。 ピリピ 3:20~21	Those brothers and sisters who prepare their minds for action and keep a clear head always stay alert and set their hope on the second coming of the Lord Jesus. "To prepare our minds" is to place our trust in the grace of the Lord with total confidence. "Grace" is something the Lord Jesus accomplishes for us in an absolutely different dimension from what humans do. Thus, true runners refer to those who run trusting 100% in the grace of the Lord Jesus. Instead of relying on their own ability, they run the race and pursue the goal where the Lord Jesus reveals Himself.
私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キ リストが救い主としておいでになるのを、私たちは待 ち望んでいます。キリストは、万物をご自身に従わせ ることのできる御力によって、私たちの卑しいからだ を、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださる のです。	Philippians 3:20-21 Our citizenship, however, is in heaven, and it is from there that we eagerly wait for a Savior, the Lord Jesus, the Messiah. He will change our unassuming bodies and make them like his glorious body through the power that enables him to bring everything under his authority
私たちは意識して、永遠なる一つの目標だけに思いを集 中していなければなりません。もし、目標が一つに定まっ ていなければ、主から与えられた御力をもって目標に向 かって前進することはできません。パウロは「キリスト・イ エスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、 目標を目ざして一心に走っている」(ピリピ 3・14)と証しし ました。	We have to clearly set our minds on one eternal goal. If we are uncertain of which way we should head, we won't be able to move forward to reach the goal with the strength given by the Lord. Paul once testified that "I keep pursuing the goal to win the prize of God's heavenly call in the Messiah Jesus" (Philippians, 3:14).
パウロのこの証しについて考えましょう。パウロはまず第 ーに、競走者の「召し」について語っています。その「召 し」は、ただ主イエス様お一人だけによるものであり、す べてのことは主イエス様を通してなされます。	Let's look at this testimony of Paul. Paul begins with the explanation of "calling" to runners. All runners are "called" by no one but the Lord Jesus, and all things are done through the Lord Jesus.
ピリピ 3:4~7 私は、人間的なものにおいても頼むところがあります。 もし、ほかの人が人間的なものに頼むところがあると 思うなら、私は、それ以上です。私は八日目の割礼を 受け、イスラエル民族に属し、ベニヤミンの分かれの 者です。きっすいのヘブル人で、律法についてはパリ サイ人、その熱心は教会を迫害したほどで、律法に よる義についてならば非難されるところのない者です。 しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、	flesh, I have more reason to think so. Having been circumcised on the eighth day, I am of the nation of Israel, from the tribe of Benjamin, a Hebrew of Hebrews. As far as the Law is concerned, I was a Pharisee. As for my zeal, I was a persecutor of the church. As far as

私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。	me, these I now consider a loss for the sake of the Messiah.
[11]	[11]
第二にパウロは、競走者の霊的な目的はイエス様であ り、競走はただ主イエス様のために行われると証してい ます。	Secondly, Paul testified that the spiritual goal of all runners is Jesus, and all races are held to honor the Lord Jesus alone.
ピリピ 3:8~9 私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすば らしさのゆえに、いっさいのことを損と思っています。 私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それら をちりあくたと思っています。それは、私には、キリス トを得、また、キリストの中にある者と認められ、律法 による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰に よる義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられ る義を持つことができる、という望みがあるからです。	Philippians 3:8-9 What is more, I continue to consider all these things to be a loss for the sake of what is far more valuable, knowing the Messiah Jesus, my Lord. It is because of him that I have experienced the loss of all those things. Indeed, I consider them rubbish in order to gain the Messiah and be found in him, not having a righteousness of my own that comes from the Law, but one that comes through the faithfulness of the Messiah, the righteousness that comes from God and that depends on faith.
第三に、競走者の努力と力は、主イエス様と共に上に召 してくださる主の「賞」を得るために注がれていると証して います。	Thirdly, it was also testified that the efforts and strength of runners are poured into winning the "prize" of the Lord, which refers to a heavenly call from the Lord Jesus.
ピリピ 3:10~14 私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの 苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状 態になり、どうにかして、死者の中からの復活に達し たいのです。私は、すでに得たのでもなく、すでに完 全にされているのでもありません。ただ捕えようとして 追求しているのです。そして、それを得るようにとキリ スト・イエスが私を捕えてくださったのです。兄弟たち よ。私は、自分はすでに捕えたなどと考えてはいませ ん。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろ のものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠 を得るために、目標を目ざして一心に走っているので す。	Philippians 3:10-14 I want to know the Messiah—what his resurrection power is like and what it means to share in his sufferings by becoming like him in his death, though I hope to experience the resurrection from the dead. It's not that I have already reached this goal or have already become perfect. But I keep pursuing it, hoping somehow to embrace it just as I have been embraced by the Messiah Jesus. Brothers, I do not consider myself to have embraced it yet. But this one thing I do: Forgetting what lies behind and straining forward to what lies ahead, I keep pursuing the goal to win the prize of God's heavenly call in the Messiah Jesus.
第四に、競走者が待ち望んでいることは、いつまでも主 イエス様といっしょにいることだと語っています。	Fourthly, he stated that what all runners aspired to was to be with the Lord forever.
[12]	[12]
主イエス様によって完全に捕えられていることこそ、キリ スト者のあらゆる力の秘訣です。主イエス様によって捕 えられた者だけが、真の目標をとらえるようになります。 パウロは「私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にさ れているのでもありません。ただ捕えようとして、追求し ているのです。そして、それを得るようにとキリスト・イエ スが私を捕えてくださったのです」と言っています。	To be perfectly embraced by the Lord Jesus is the Christians' source of strength. Only those who are embraced by the Lord Jesus will reach their true goal. Paul mentioned that "it's not that I have already reached this goal or have already become perfect. But I keep pursuing it, hoping somehow to embrace it just as I have been embraced by the Messiah Jesus."
4.勝利を得る	4. Winning the Victory
あらゆる勝利は主に属する者を前進させます。耐え忍ん だすべての試練により、兄弟姉妹の信仰は強くされます。 主イエス様の助けを体験した人はその喜びを増し加えら	All kinds of victory help those who belong to the Lord move forward. Brothers and sisters in Christ are strengthened by the ordeals they endure. When people experience the help of the Lord Jesus, their

れるのです。	joy is increased.
ある神学校でのことを話しましょう。学生たちは「全能の 主なる神と悪魔」というテーマで諭文を書くことになりまし た。与えられたのはわずか四時間で、論文は第一章「全 能なる神」、第二章「悪魔の存在と本質」、第三章「全能 なる主と悪魔との関係」の三つの部分に分けて書くよう 課せられました。学生たちは当然、悪の発生とそれが許 されていることの問題、この悪を主なる神がご支配なさっ て光の国により闇の国が支配されることなどについて書 くと思われました。 しかし一人の学生は、主なる神の全能と偉大さ、愛、知 恵、真実、善、そして憐れみなどについて夢中になって 書いたのです。そして突然、終わりの時間がやってきま した。彼は、始めから終わりまでただ主イエス様のことに ついてだけ書き続け、その論文は感謝と喜びに満ちた内 容になっていました。終了時間になったとき、「悪魔に時 間なし」と書いて論文を出したそうです。先生がその学生 に対してどんな評価を与えたかは分かりません。しかし、 私たちは「悪魔に時間なし」ということばから多くのことを 学び取ることができます。 私たちの心が本当に主イエス様によって満たされている ならば、悪や悪魔が入り込む余地は全然ありません。そ のとき私たちの心は、いわば主の領土のようなものです。 罪やこの世のものはまったく力を失い、私たちは上から の使命と目標を持つようになります。	Let me talk about what once happened in this divinity school. Students were given the assignment to write an essay titled, "The Lord God Almighty and the Devil." They were only given four hours to write the assigned essay, which consisted of three chapters entitled "the God Almighty," "Existence of the Devil and His Nature" and "Relationship Between the Lord Almighty and the Devil," respectively. Naturally, students were expected to write about such things like the generation of evil and the reason why it is allowed, how evil is governed by the Lord God and how the kingdom of darkness is controlled by the kingdom of light. One student enthusiastically wrote about the almightiness and greatness of the Lord God, His love, wisdom, truth, goodness, mercy and so on. But suddenly, he noticed that the assigned time was coming to an end. He had spent all of his time admiring the Lord Jesus, and his essay was filled with gratitude and joy from beginning to end. When the time was up, he added one last line that said, "Ne time for the devil" before he submitted it. I don't know how the teacher graded this student, but we can learn so many things from that line: "There is no time for the devil."
ル便師と日標を持つようになります。	sneak in. Such hearts are like a territory that belongs to the Lord. Sins and all the worldly things have no
	power there, and we will be given a mission from above and a goal to pursue.
[13]	[13]
私たちの心が主イエス様によって満たされているなら、 私たちの時間は主のものとなります。主イエス様を喜ぶ ことは、私たちを囲む要塞のようなものとなります。主イ エス様が私たちを捕えてくださればくださるほど、罪はそ の力を失います。私たちが主イエス様のための時間を多 く持てば持つほど、私たちの敵である悪魔のための時間 はますます少なくなります。「悪魔に時間なし」です。	If our hearts are filled with the Lord Jesus, our time will belong to the Lord fully. To rejoice in the Lord Jesus is like being protected in a fort that surrounds us. As we are embraced by the Lord Jesus more and more, the power of sin will weaken. As we use more time for the Lord Jesus, our enemy the devil will hav less time. There will be "no time for the devil."
ドイツのケルンにある画廊に、大きな油絵があります。それは旧約聖書に出てくる士師記のサムソンを描いたものです。それを見ると、サムソンは細い紐で縛られ、小さな子供がその紐を持って巨人サムソンを導いています。そのサムソンの髪の毛は切り落とされて大地に落ちています。この髪の毛はサムソン自身がすべての生活を主に捧げたことの証明となるものでした。けれど今、サムソンは罪によって霊的な力を失ってしまっていたのです。いかに小さな罪でも、罪を犯した者は悪魔に縛られてしまうのです。ただ主にすべてを捧げ尽くすことが本当の力の秘訣です。ただ主イエス様との霊的な交わりだけが私たちを勝利の生活に導くのです。	Once, I saw a big oil painting at some art gallery in Koln, Germany. It shows Samson the Judge from th Old Testament. In that painting, Samson is tied up with thin rope, and a little child is dragging Samson the Giant at the other end of the rope. Samson's hai is shaved off and have fallen to the ground. His hair was the proof of Samson's whole life being devoted to the Lord. However, Samson had lost his spiritual power because of his sin. No matter how small the sin is, those who commit sin will be tied up by the devil. Devoting our whole life to the Lord is the key to obtaining true strength. It is only through spiritual fellowship with the Lord Jesus that we can be led to a victorious life.

2 歴代 16:9 主はその御目をもって、あまねく全地を見渡し、その 心がご自分と全く一つになっている人々に御力をあ らわしてくださるのです。	2 Chronicles 16:9 The Lord's eyes keep on roaming throughout the earth, looking for those whose hearts completely belong to him, so that he may strongly support them.
勝利を得たいと思う兄弟姉妹は、すべてを主イエス様に 明け渡さなければなりません。自分自身をまったく主イエ ス様にゆだねた者だけが、本当に恵まれ祝福されます。 競走者の真の生涯は、焦点を二つ持った楕円、つまり生	If brothers and sisters in Christ want to win the victory, they have to surrender themselves to the Lord Jesus. Only those who totally entrust themselves to the Lord Jesus will be truly blessed and celebrated.
活の中心が自分自身とイエス・キリストにあって、その間 を往ったり来たりするようなものではなく、主イエス様とい うただ一つの中心しかない、円のようなものです。このよ うな真の競走者としての生涯を全うさせていただけるよう。 主に心から祈りたいものです。	center—which is the Lord Jesus. We would like to pray to the Lord from the bottom of our hearts to let
コロサイ1:18 また、御子はそのからだである教会のかしらです。御 子は初めであり、死者の中から最初に生まれた方で す。こうして、ご自身がすべてのことにおいて、第一 のものとなられたのです。	us live out our lives as true runners. Colossians 1:18 He is also the head of the body, which is the church. He is the beginning, the firstborn from the dead, so that he himself might have first place in everything.